



▲全員で素振りを行う参加者たち

新たな気持ちで新年を迎える

栖本少年剣道クラブ青志会・年越し稽古

12月31日、栖本少年剣道クラブ青志会の「年越し稽古」が栖本中学校体育館で行われ、同会の小・中学生や卒業生など50人が参加しました。同会が1年の反省と、新たな気持ちで新年を迎えようと毎年実施しているもの。参加者は、午後11時から日付が変わった午前0時30分まで、大きなかけ声を出しながら稽古に汗を流していました。参加した小・中学生は、「今年は、試合で優勝できるようにがんばります」と話していました。

新春のウォーキングを楽しむ

楠浦よかとこスタンプラリー大会

1月6日、「楠浦よかとこスタンプラリー大会」が楠浦町公民館を発着とする7.3kmのコースで行われ、105人が参加しました。楠浦地区振興会が開催しているもので、今回で3回目。

参加者は、地元住民が組織する“よかとこ案内人”の案内を受けながら、県指定重要文化財の楠浦眼鏡橋や市指定史跡の新田古墳など6カ所のチェックポイントを巡り、同ポイントでスタンプを押印。新春のウォーキングを楽しんでいました。また、ゴール後はだご汁がふるまわれたほか、景品が当たるスタンプゲームなども行われ、大いに盛り上がりました。



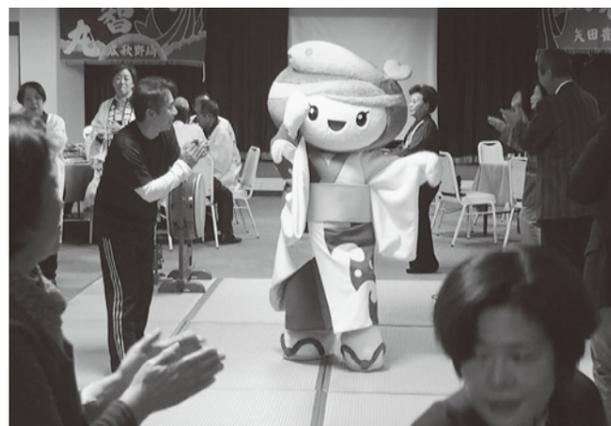
▲楠浦眼鏡橋を渡る参加者

「ハイヤちゃん」をよろしくね!

牛深のゆるキャラ「ハイヤちゃん」誕生

このほど、牛深地区振興会のマスコットキャラクター「ハイヤちゃん」が誕生しました。同地区振興会が7月にデザインを一般公募し応募があった中から、立志哲洋さん（東京都）の作品で漁業の町らしく魚をモチーフにした髪形をした女の子に決定。12月8日には、ハイヤ踊りの体験イベント「座・元ハイヤ」でデビューし、得意のハイヤ踊りを披露。元気よく足を上げたり手を振ったりして踊り、参加者を楽しませていました。

今後は、同地区振興会のPRに活用され、町内外で開かれる催しに登場する予定です。



▲牛深ハイヤ踊りを披露する「ハイヤちゃん」



▲せんだごをゆでる児童

昔ながらのふるさとの味を作ろう!

福連木小学校郷土料理づくり

12月13日、天草町の福連木小学校3年生から6年生13人が、地元で伝わる「郷土料理づくり」を体験しました。同校が、郷土料理を通してふるさとを知り、大切に作る気持ちをはぐくむことを目的に実施したものです。

児童たちは、市食生活改善推進員の手ほどきを受けながら、せんだご汁や手羽先の照り煮など5品の郷土料理に挑戦。できあがった料理は、全児童と関係者らにふるまわれました。児童は、「家で作って家族に食べさせてあげたい」と笑顔で話していました。

三門松ですばらしい新年を

浦地区門松づくり交流会

12月25日、倉岳町の浦地区振興会による、「門松づくり交流会」が浦公民館で行われ、地元の子どもたちや同地区の住民など40人が参加しました。子どもたちは、同地区振興会会員から門松に関する由来や飾り方などの説明を聞いた後、住民らといっしょに松や梅などの飾り付けを熱心に取り組んでいました。

できあがった120個の門松は、地区内の1人暮らしの高齢者などに配られ、皆さんにたいへん喜ばれました。

心身の鍛練で寒さを吹き飛ばす

一町田八幡宮「寒もうで」

1月5日から同7日にかけて、河浦町の一町田八幡宮で「寒もうで」が行われました。これは、冬の寒さが厳しくなる“小寒”にあわせて、住民の心身鍛練や無病息災を願って実施されているもので、大正時代から約100年続く伝統行事。期間中は、早朝から子どもや高齢者など40人が参加し、両手を高く突き上げる「天突き体操」や、船をこぐ動作をまねた「ろこぎ体操」で体をあたため、今年1年の健康を願いました。



▲天突き体操をする参加者たち



▲説明を受けながら飾りつけをする児童